

2025年3月25日

新型 Audi Q6 e-tron : アウディの変革のステップを示す新世代の電気自動車

- PPE ベースの最初の市販モデル。アウディの変革における新しいステップを示すモデル
- 優れた走行性能と充電性能・高い効率により一充電走行距離は 672km (SQ6 e-tron)
- 新しいデザイン哲学と先進的なテクノロジーにより *Vorsprung durch Technik* (技術による先進) を体現

アウディ ジャパン (東京都品川区、ブランド ディレクター：マティアス シェーパース) は、アウディのプレミアムミッドサイズ SUV 電気自動車 (BEV) の Audi Q6 e-tron と、スポーツグレードの Audi SQ6 e-tron を発表しました。4月15日より全国のアウディ正規ディーラー (123 店舗、現時点) にて発売します。

Audi Q6 e-tron シリーズは、アウディがポルシェと共同開発したスポーティでハイパフォーマンスな BEV プラットフォーム PPE (プレミアム・プラットフォーム・エレクトリック) をベースにした初の市販モデルシリーズであり、洗練されたアウディの SUV、Q モデルのスタイルと、e-tron のデザイン言語を融合させた次世代電動 SUV です。このモデルは、卓越した走行性能、充電速度、そして最長 672km (SQ6 e-tron) という優れた一充電走行を実現し、スポーティなパフォーマンスと日常での使いやすさを両立しています。さらに、インテリアの新しいデザイン哲学と先進的なテクノロジーが、アウディのブランドスローガン *Vorsprung durch Technik* (技術による先進) を体現し、これまでにないドライビングエクスペリエンスを提供します。最先端の生産体制と持続可能な取り組みにより生み出される Audi Q6 e-tron は、PPE の柔軟性を活かしながら、アウディの DNA と個性を組み込み、電動ラインアップ拡充の新たな原点となるモデルとして、未来のモビリティ体験をさらに進化させ、新たな価値と感動をお客様に届けます。

デザイン：AUDI DNA を引き継ぐ革新的デザイン、そしてサステナブル素材の融合

Audi Q6 e-tron は、プレミアムミッドサイズセグメントに属する電動 SUV であり、卓越したデザインと革新的なテクノロジーを融合させたモデルです。ボディサイズは全長 4,770mm、全幅 1,940mm、全高 1,695mm、ホイールベース 2,895mm と、ゆとりある室内空間と安定感のあるプロポーションを実現しています。PPE の採用により、長いホイールベースと非常に短いオーバーハングを特徴とし、アウディの SUV である Q モデルならではの力強くダイナミックなシルエットを形成しています。さらに、e-tron としてのデザイン言語にも磨きをかけ、先進的なスタイルを際立たせています。

エクステリアデザインは、全体的にソフトな印象を与える流れるようなフォルムの中で、シャープなラインやエッジがコントラストを生み出し、静止しているときでもダイナミックな存在感を放ちます。アップライトなフロントエンドには、完全に閉じられた立体的な造形のシングルフレームとサイドエアインテークがフロントフェイスを際立たせ、高い位置に配置されたデジタルデイトタイムランニングライトが、Audi Q6 e-tron に特徴的な表情を与えています。

サイドビューでは、力強い形状のボディがリヤに向かって伸びることで緊張感を醸し出し、ウィンドウエリアは車両後方に向かってわずかに細くなり、緩やかに傾斜した D ピラーが筋肉質なショルダー部分にエレガントに流れ込むデザインとなっています。D ピラーとルーフの間のブラックの縁取りが、キャビンをより長く見せつつ、車両全体のダイナミックな印象を与えます。また、リヤライトからリヤドアへと流れるラインが、D ピラー下部の quattro (クワトロ) ブリスターを際立たせます。このブリスターは、アウディのデザイン DNA における重要な要素であり、アウディはこれを「テクノロジーの可視化」と表現しています。Audi e-tron GT のデザインを SUV スタイルに落とし込んだ、四輪を強調する quattro ブリスターフェンダーは、力強さと安定感を視覚的に表現しています。

リヤエンドは、ダイナミックに絞り込まれた造形がエレガントでスポーティな雰囲気を生み出し、左右を結ぶライトストリップを備えた幅広くクリーンなリヤランプが、Audi Q6 e-tron quattro にアウディ特有の洗練された落ち着きを与えています。

Audi Q6 e-tron のインテリアは、デザインとエルゴノミクス（人間工学）の2つの視点により、乗員に最適化されたスペースを創出しています。立体的でハイコントラストな3Dデザインを採用し、前景や背景にエレメントを意図的に配置することで、奥行きと洗練された美しさを実現。MMI パノラマディスプレイとMMI パッセンジャーディスプレイは、非常に鮮明なデジタル画像を映し出し、直感的な操作性を提供します。

ソフトラップと呼ばれるトリムは、ドアからコックピット全体そしてセンターコンソールまでシームレスに広がり、乗員を包み込むような調和の取れたスペース感覚を生み出します。シートには同じカラーと高品質な素材を使用し、一部にはリサイクル素材を採用しています。素材の選定は機能性とデザインの差別化を両立させ、エリアごとに独自のキャラクターを演出しています。Audi Q6 e-tron はアウディの電気自動車フラッグシップモデル Audi e-tron GT より導入を始めたレザーフリーマテリアルを採用する、S line パッケージエラストックメラングクロス／アーティフィシャルレザー（レザーフリーシート）をオプションで用意することにより、e モビリティにシフトするアウディの新しいラグジュアリーの姿を示しています。エラストックメラングクロスは、100%リサイクルポリエステルから製造された素材をメインとしており、異なる色の繊維が織りなす、表情豊かな素材感が特徴です。

快適性を重視するエリアには、広々とした雰囲気強調する柔らかい素材を使用する一方、コントロール類には高品質なハイグロスブラックを採用し、車両との対話に必要な明確さを確保しています。PPE の採用により、広々としたスペース感覚と居住性を両立し、高い実用性を実現。長いホイールベースと、電気自動車ならではのセンタートンネルのない設計が、リヤのセンターシートの快適性をさらに向上させています。トランク容量は526ℓで、リヤシートを3分割（40：20：40）となっており、最大1,529ℓまで拡大。さらに、ボンネット下のフランク（フロントトランク）には64ℓの収納スペースを確保しています。

ライティング：革新的デジタルライティングテクノロジー

世界初のアクティブデジタルライトシグネチャーを備えた Audi Q6 e-tron は、アウディ独自のデザインと美学を表現する、新時代の到来を告げるモデルです。Audi Q6 e-tron には5台のドメインコンピューターが搭載され、その内の1台によって制御されるソフトウェアモジュールにより、このライトシグネチャーが可能になります。ライティングデザインと新しいテクノロジーを完璧に融合することにより、Audi Q6 e-tron のライトは、これまで以上に鮮やかでインテリジェントに見えます。アクティブデジタルライトシグネチャーは、アウディライトテクノロジーの未来への道も示しています。

フロントでは、アクティブデジタルライトシグネチャーが、調光可能な12のセグメントとアルゴリズムの相互作用によって作成されます。新設計されたマトリクスLEDヘッドライトには計61個のLEDセグメントを装備し、デジタルライトシグネチャー装着時には、MMIから最大8パターンのライティングを選択可能です。

リヤに搭載した第2世代のデジタルOLEDリヤライトには、合計360のセグメントを備えた6枚のOLEDパネルを装備しています。これは、従来のOLEDリヤライトの約10倍のセグメント数で、専用開発されたアルゴリズムにより10ミリ秒ごとに新しい多層的な画像を生成します。MMIから8パターンのライティングシグネチャーを選択でき、オーナーはまったく新しい方法でAudi Q6 e-tronをパーソナライズすることができます。

さらに、Audi SQ5など他のアウディモデルで既に採用されている近接検知アラートが進化し、コミュニケーションライトとしてデジタルOLEDリヤライトに組み込まれました。たとえば、乗員が車両から降りる際や、前方に障害物を検知した際、周囲のドライバーや歩行者などに、特定のライトシグネチャーで警告します。ライトシグネチャーは車両周辺の状況に応じた専用のシグネチャー（警報シンボル）で道路使用者に注意喚起できるようになり、安全性を向上させています。

すべてのデジタルOLEDセグメントは、ライトシグネチャー全体の光の強さが変化しないよう調整され、Audi Q6 e-tron のライティングデザインと機能性は、路上での安全性を新たなレベルへと引き上げました。

パフォーマンス：スポーティドライビングと優れた効率を両立

Audi Q6 e-tron は、パワフルでコンパクトかつ高効率な電気モーターと、新開発のリチウムイオンバッテリーによって、卓越したパフォーマンスと長い充電走行距離を両立しています。このリチウムイオンバッテリーは 12 のモジュールと 180 のプリズムセルで構成され、総容量 100kWh（総電力量 94.9kWh）を誇ります。これにより、Audi Q6 e-tron は 185kW 出力モデルで 569km、285kW 出力モデルで 644km、スポーツグレード Audi SQ6 e-tron は 672km の一充電走行距離を実現し、ロングドライブにも安心して出かけることができます。

後輪駆動の Audi Q6 e-tron は、83kWh のバッテリーと 185kW を発揮する 1 基の電気モーターをリヤに搭載し、0~100km/h 加速は 7.0 秒です。Audi Q6 e-tron quattro は、100kWh のバッテリーを搭載して 285kW のシステム出力を発揮し、0~100km/h 加速はわずか 5.9 秒です。スポーツグレードの Audi SQ6 e-tron は、同じく 100kWh のバッテリーを搭載して最大 360kW（ローンチコントロール使用時は 380kW）のシステム出力を誇り、0~100km/h 加速は 4.3 秒（ローンチコントロール使用時）、最高速度は 230km/h に達します。このようにスポーティなパフォーマンスと優れた効率性を兼ね備えた Audi Q6 e-tron は、電動モデルの新たな基準を打ち立てます。

駆動システムの最大出力は、後輪駆動の Audi Q6 e-tron が 185kW（ローンチコントロール起動時は 215kW）、quattro 四輪駆動の Audi Q6 e-tron quattro が 285kW、そして Audi SQ6 e-tron が 360kW（Audi SQ6 e-tron のローンチコントロール起動時は 380kW）です。後輪駆動モデルのリヤアクスルにはヘアピンコイルを採用する最大トルク 450Nm を発生する PSM（永久磁石同期モーター）を搭載します。一方、quattro 四輪駆動モデルのリヤアクスルには共通のヘアピンコイルを採用する 580Nm の PSM を備え、フロントアクスルには、同じく共通の最大トルク 275Nm を発生する ASM（非同期モーター）を搭載します。これにより、俊敏かつ力強い加速力と、優れたハンドリング性能を実現。さらに、ドライサンプ方式の新冷却システムを採用することで、パワートレインのコンパクト化と軽量化を図り、効率性とパフォーマンスの両立を徹底しています。

Audi Q6 e-tron は、日常の利便性と長距離ドライブの快適さを両立させるために、最先端の充電技術を搭載した電動 SUV です。標準バッテリーには 800V テクノロジーを採用しており、欧州では最大充電出力は 270kW に達し、最適な急速充電ステーション（High Power Charging：HPC）を利用すると、約 21 分で充電レベル（SoC）を 10% から 80% まで引き上げ、インテリジェントで予測的なサーマルマネジメントが、この高効率充電をサポートしています。日本では、Audi charging hub 紀尾井町をはじめとする日本国内アウディ販売店に設置されている ChAdeMO 方式として国内最大出力の 150kW 充電器を利用した場合、最大 135kW の急速充電に対応し、約 35 分で充電レベル（SoC）を 10% から 80% まで引き上げます。さらに 8kW の AC 充電にも対応し、家庭や公共施設での充電もスムーズに行います。

※ 実際の充電速度は、電池の温度や残量、充電器等に応じて異なります。

Audi Q6 e-tron は、先進的な回生システムにより、効率性とドライビングダイナミクスを卓越したレベルへと引き上げています。日常の制動プロセスの約 95% は回生ブレーキによって行われ、最大 220kW のエネルギーを回生。これにより、航続距離の最大化と高効率なエネルギー活用が可能です。さらに、新設計のフロントアクスルと精密なトルク配分により、Audi Q6 e-tron は俊敏かつ安定した走行性能を実現。コントロールアームがサスペンションアームの前方に配置されており、これが高電圧バッテリーのレイアウト最適化にも寄与しています。サブフレームに固定されたステアリングラックや、洗練されたアクスル構造によって、ステアリングの応答性が向上。プログレッシブステアリングとフリークエンシーセレクトティブダンパーシステムを備えたサスペンションが、快適性と路面追従性をさらに高めます。

Audi Q6 e-tron は後輪駆動と quattro 四輪駆動モデルを用意。Audi SQ6 e-tron は quattro モデルです。quattro システムは、リヤアクスルへのトルク配分を重視。フロントとリヤで異なるサイズの電気モーターを搭載し、フルロード時でもリヤ重視のパワー配分を維持。さらに、リヤタイヤはフロントタイヤよりも幅広く、これによりグリップ力とドライビングダイナミクスが一層強化されています。

デジタルステージ：電子アーキテクチャー E³ 1.2 新しいデジタル体験

アウディは、新開発された未来志向の電子アーキテクチャー E³ 1.2 により、車両のデジタル化をこれまで以上に直接体験できるようにしました。E³ という名称は、エンドツーエンドの電子アーキテクチャー (end-to-end electronic architecture) を意味し、開発時に最優先とされた目標は、将来性のある標準化されたフレームワークを作成することでした。機能指向のアーキテクチャーは、5 台の高性能コンピューター (HCP: ハイパフォーマンス コンピューティング プラットフォーム) を備えた新しいドメインコンピューター構造に基づいており、インフォテインメントや運転機能から、将来の部分的自動運転に至るまで、すべての車両機能を制御します。演算能力において、これまでで最もパワフルなこの電子アーキテクチャーは、お客様のニーズを満たすように設計されています。ドメインコンピューター、制御ユニット、センサー、アクチュエーターを高性能かつ安全にネットワーク化することで、より高度なシステムに対応し、モジュール構造をサポートできるように開発されました。この先進的な電子アーキテクチャーは、今回の Audi Q6 e-tron とともにデビューし、今後はアウディのイノベーションの基礎となって、他のモデルラインナップにも展開される予定です。

Audi Q6 e-tron モデルシリーズは、新しい電子アーキテクチャーをベースに、完全なコネクテッド機能を備えたデジタルインテリアが特徴です。MMI パノラマディスプレイと MMI パッセンジャーディスプレイから構成されるデジタルステージは、インテリアのハイライトとなっています。これらのディスプレイは、インテリアのデザインコンセプトと完全に統合され、明るく広々としたスペース感覚を生み出します。スリムな独立型 MMI パノラマディスプレイは、曲面デザインと OLED テクノロジーを採用し、11.9 インチのバーチャルコックピットプラスと 14.5 インチの MMI タッチディスプレイで構成されています。ドライバーエリアは曲線を基調としたデザインで、凹面形状のディスプレイがドライバーに向けられています。このディスプレイのカーブを描く輪郭は、アウディのシングルフレームグリルを連想させ、アンビエントライトの効果により夜間には宙に浮かんでいるかのように見え、操作性も最適化されています。さらに、助手席にはアクティブプライバシーモードを備えた 10.9 インチ MMI パッセンジャーディスプレイを装備しています。これにより、運転中のドライバーの注意散漫を防ぎながら、助手席では映画やビデオコンテンツのストリーミング再生、ナビゲーションルートの共有、充電ステーションの検索などが可能です。

デジタルステージのもう 1 つのハイライトは、オプションの AR (拡張現実) ヘッドアップディスプレイです。ドライバー前方のフロントガラスに、速度、道路標識、アシスタンスシステムの情報、ナビゲーションシステムのシンボルなどを表示します。画像が前方に傾けられていることで、ドライバーは表示される情報に自然に焦点を合わせやすくなっています。仮想距離を最大 200m 先に設定すると、表示エレメントが現実世界にシームレスに統合されているかのような印象を与えます。この拡張現実機能の情報は、ドライバーの視点から約 88 インチの大きさで表示され、視認性と直感的な理解を促します。これにより、ドライバーは不要なストレスや気が散ることなく、運転に集中することができます。

生産：最先端の生産体制と持続可能な取り組み

Audi Q6 e-tron モデルファミリーは、アウディの本社があるドイツ・インゴルシュタット工場生産される初の電気自動車です。生産から製品に至るまで、アウディの持続可能性への取り組みを体現しています。Audi Q6 e-tron シリーズを持続可能かつ効率的に生産するために、アウディは既存の構造とシステムを活用しています。このモデルシリーズが採用する PPE モデルのボディは、約 148,000m² の敷地に建つインゴルシュタット工場で製造されており、ボディショップは、既存の組立ラインにシームレスに統合されています。

導入限定モデル：Audi Q6 e-tron edition one grey / edition one blue

Audi Q6 e-tron の導入に際し、世界的な販売を記念して展開される限定モデル Audi Q6 e-tron edition one grey と edition one blue を発売します。2 つの限定モデルは、Audi Q6 e-tron quattro をベースに、スポーティな S line パッケージ、ブラック Audi rings & ブラックスタイリングパッケージ、そして、ファンクションパッケージ、テクノロジーパッケージ、ラグジュアリーパッケージの 5 つのオプションパッケージを標準採用します。さらに、専用のダークヘッドライトハウジングや存在感のあるレッドブレーキキャリパー、Audi Sport 製 21 インチアルミホイールを特別装備しています。インテリアにも、同じく特別装備のハイテックメッシュアンスラサイトのデコラティブパネルを採用するなど、細部にまでこだわり、導入限定モデルにふさわしい充実した装備となっています。日本市場では、edition one grey を 100 台、edition one blue を 30 台を限定導入します。

PCA 1年無料プロモーション

e-tron シリーズの新車を購入した場合、アウディが加盟する国内最大級の急速充電器ネットワーク PCA（プレミアム チャージング アライアンス）の利用登録後 1 年間、月額基本料金／都度充電料金が無料となり、Q6 e-tron シリーズも対象です。詳しくは、ウェブサイト（https://www.audi.jp/e-tron/purchase_support/#campaign）をご覧ください。

Audi Q6 e-tron 特設ページ

https://www.audi.co.jp/ja/models/q6-e-tron/audi_q6_e-tron/

モデル	電気モーター 最高出力 / 最大トルク	バッテリー 総電力量	駆動方式	ステアリング	車両本体価格 (税込)
Q6 e-tron	電気モーター 185kW / 450Nm	83kWh	RWD	右	8,390,000 円
Q6 e-tron quattro	電気モーター 285kW / 580Nm	100kWh	quattro	右	9,980,000 円
SQ6 e-tron	電気モーター 360kW / 580Nm	100kWh	quattro	右	13,200,000 円

限定モデル edition one

モデル	電気モーター 最高出力 / 最大トルク	バッテリー 総電力量	駆動方式	ステアリング	車両本体価格 (税込)
Q6 e-tron edition one grey	電気モーター 285kW / 580Nm	100kWh	quattro	右	12,380,000 円
Q6 e-tron edition one blue	電気モーター 285kW / 580Nm	100kWh	quattro	右	12,530,000 円

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントにおいて最も成功している自動車・モーターサイクルメーカーの一つです。アウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティの4ブランドは12カ国・21カ所の生産拠点で製造を行っています。アウディとそのパートナーは世界100以上の市場に展開し、2024年、アウディ グループは約170万台のアウディ、10,643台のベントレー、10,687台のランボルギーニ、54,495台のドゥカティモーターサイクルを販売しました。2024年度の売上高は645億ユーロ、営業利益は39億ユーロを計上し、12月31日時点で88,000人以上の従業員が在籍、そのうち53,000人以上がドイツのAUDI AGに勤務しています。アウディ グループは、魅力的なブランドと多彩な新型モデルを展開しながら、持続可能で完全にネットワーク化された、プレミアムモビリティのプロバイダーへの道を体系的に進んでいます。